

ACDSee 2009 チュートリアル: 赤目を補正する

編集モードで開く

赤目を拡大表示する

[赤目補正] ツールを使用する

ピクセルのはみ出しを防ぐ

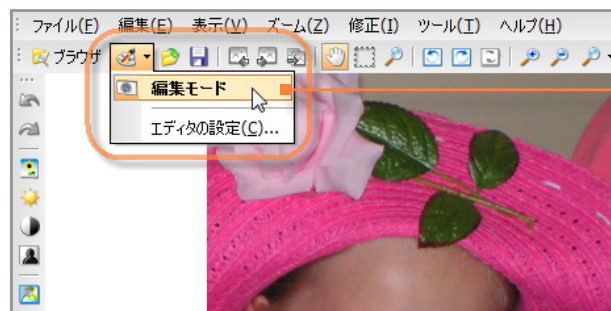
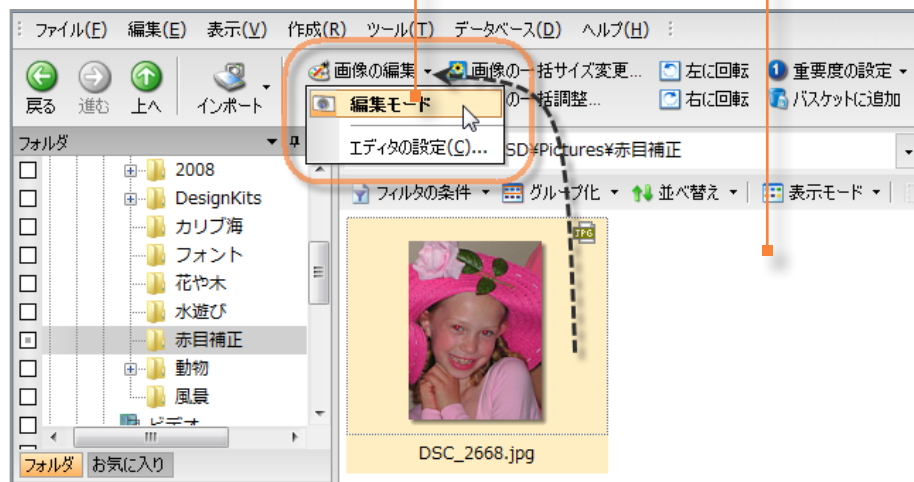
変更を保存する

まとめ

このチュートリアルでは、[赤目補正] ツールを使用して、画像から赤目を最も効果的に削除する方法について解説します。

[赤目補正] ツールは [編集] モードで見つけることができます。[編集] モードは、ブラウザまたはビューアから開くことができます。

ブラウザから [編集] モードを開くには、補正したい画像をクリックし、[画像の編集] の横にあるドロップダウン矢印をクリックしてから [編集モード] を選択します。



ビューアから [編集] モードを開くには、[画像の編集] アイコンの横にあるドロップダウン矢印をクリックしてから [編集モード] を選択します。



ACDSee 2009 チュートリアル: 赤目を補正する

編集モードで開く

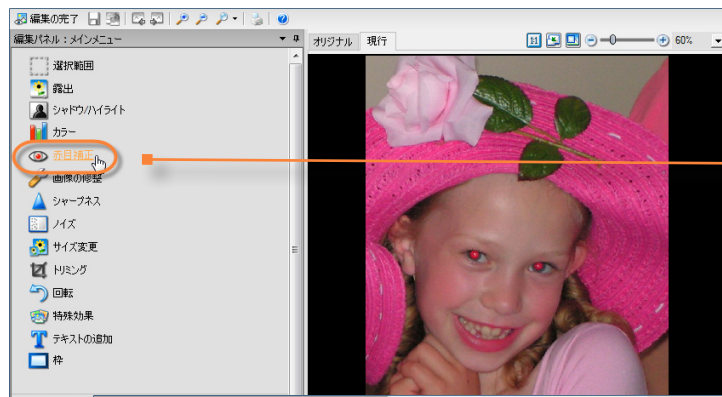
赤目を拡大表示する

[赤目補正] ツールを使用する

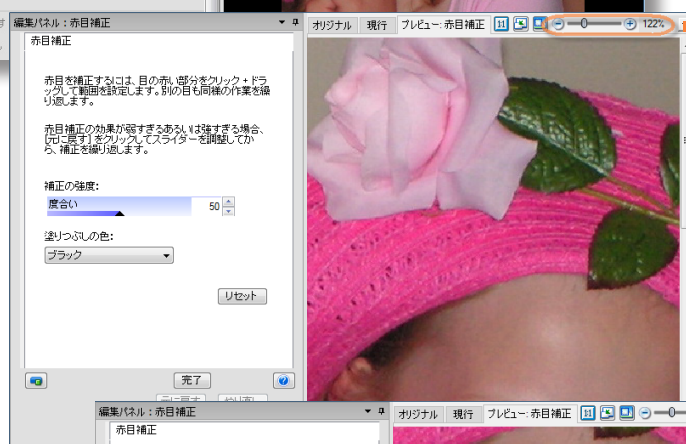
ピクセルのはみ出しを防ぐ

変更を保存する

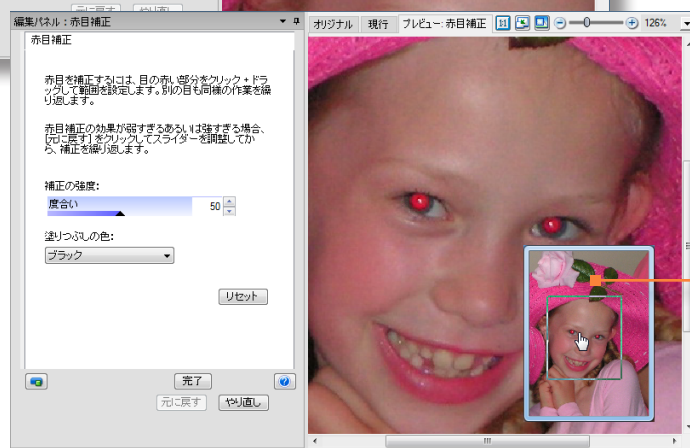
まとめ



[赤目補正] をクリックしてツールを開きます。



[赤目補正] パネルで、スライダをドラッグして適切なズーム表示に調整します。



目の部分が見えない場合は、[ナビゲーションペイン] アイコンをクリック + ホールドします。長方形が表示されたら、ドラッグして目の部分を拡大表示します。マウスを放すと、ウィンドウの中央に目が表示されます。



ACDSee 2009 チュートリアル: 赤目を補正する

編集モードで開く

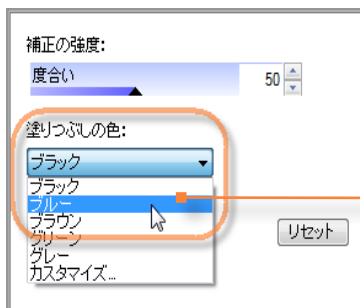
赤目を拡大表示する

[赤目補正] ツールを使用する

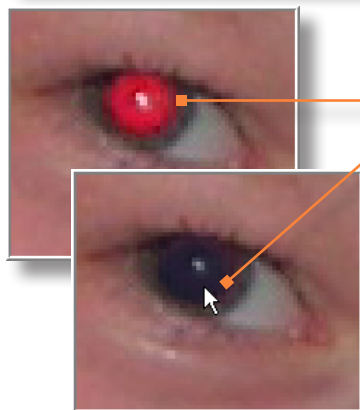
ピクセルのはみ出しを防ぐ

変更を保存する

まとめ



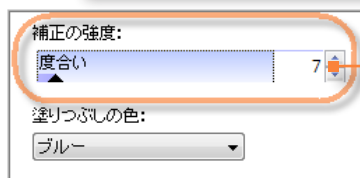
まず [塗りつぶしの色] ドロップダウンから、使用する色を選択します。対象となっている人の実際の目の色を選ぶようにします。補正が行われる際、瞳孔は黒に変更され、その周りの部分は実際の目の色とここで選択された色とでミックスされます。そのため、より自然に仕上がります。



補正方法には、目の赤い部分をクリックする、または、目の赤い部分にマーカーをドラッグするという、2通りの方法があり、それぞれ利点があります。

この例のように瞳孔に赤色が含まれている場合は、目の中心をクリックするだけで補正が完了します。ACDSee は赤のピクセルを黒または青に置き換えます。

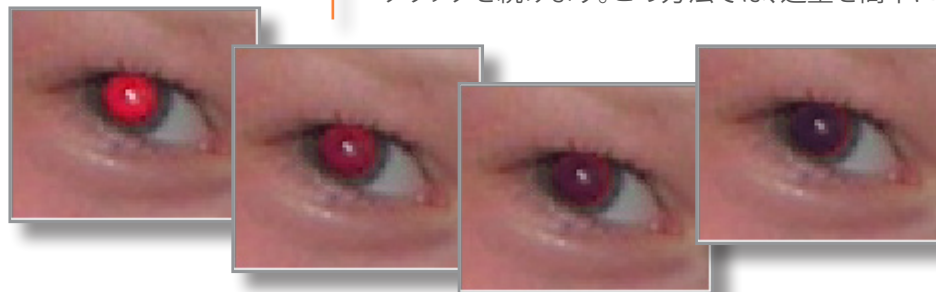
赤のピクセルすべてが補正されるわけではないため、より自然に仕上がります。



補正の色が暗すぎるまたは明るすぎる場合は、[元に戻す] をクリックするか <Ctrl> + <Z> キーを押してから、[補正の強度] スライダをドラッグして強度を調整し、もう一度目の部分をクリックします。

ヒント:

[度合い] スライダを左にドラッグして低い値に設定してから、赤目部分を数回クリックすると、クリックする度に赤目が補正されます。赤目補正に満足するまで、クリックを続けます。この方法では、適量を簡単に確認することができます。



ACDSee 2009 チュートリアル: 赤目を補正する

編集モードで開く

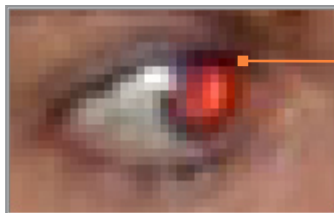
赤目を拡大表示する

[赤目補正] ツールを使用する

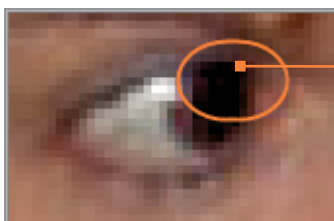
ピクセルのはみ出しを防ぐ

変更を保存する

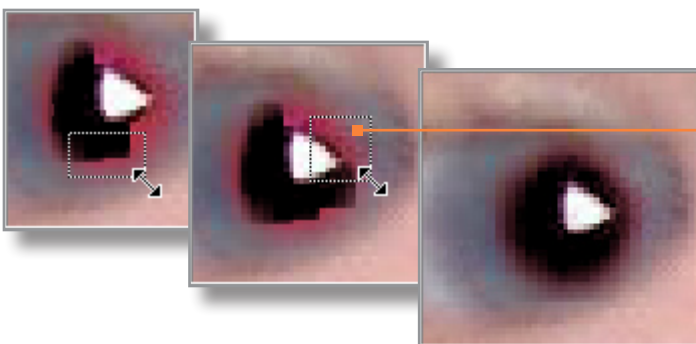
まとめ



赤みが目の周りにも見られる、あるいは皮膚の一部にも見られる場合には、クリックすることではみ出しが発生します。そのような場合、目の上にマーカーをドラッグする方法を使用します。



この例では、黒いピクセルがまぶたの周りにもはみ出しているのを確認することができます。



はみ出しを防ぐためには、まず拡大表示し、一回ごとに赤みの領域を小さくドラッグして選択します。これで赤目補正が繰り返し行われるだけでなく、置き換えるピクセル量も細かく指定することができます。

結果に満足しない場合は、[元に戻す] をクリックするか <Ctrl> + <Z> キーを押します。

わずかに赤みを残したほうが自然に見える、ということを忘れないでください。

ACDSee 2009 チュートリアル: 赤目を補正する

編集モードで開く

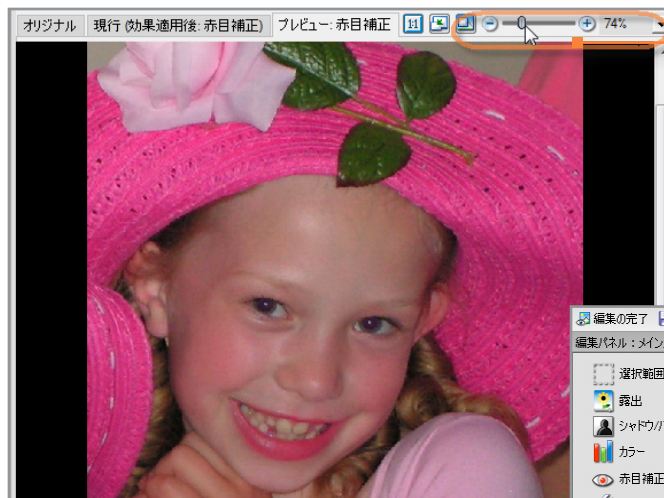
赤目を拡大表示する

[赤目補正] ツールを使用する

ピクセルのはみ出しを防ぐ

変更を保存する

まとめ

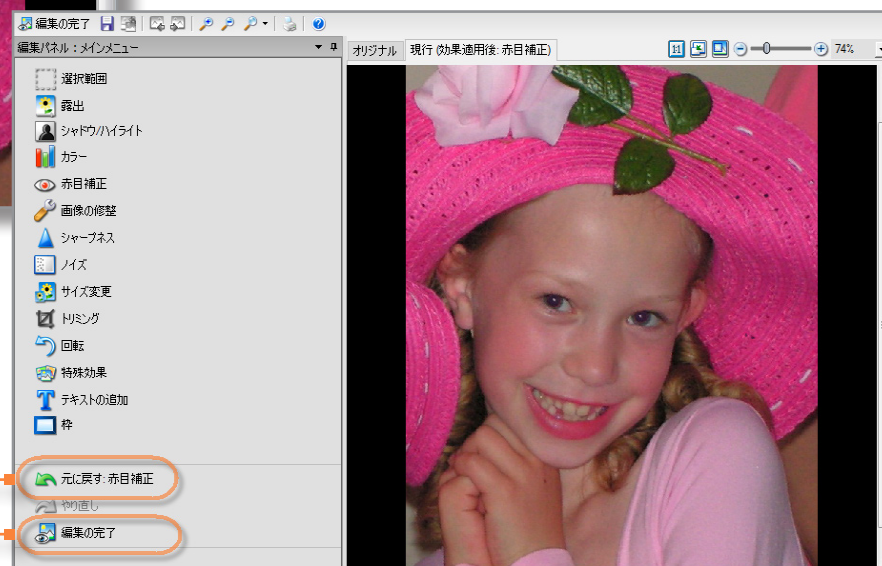


縮小表示に切り替えて、目が自然に見えるかどうかを再確認します。

結果に満足したら、[完了] をクリックして [赤目補正] ツールを終了します。

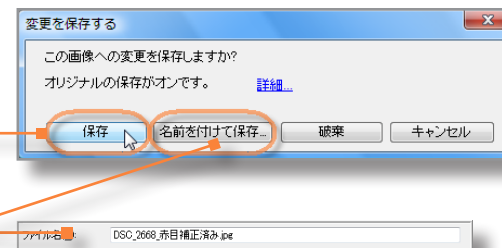
この時点では、[編集パネル] で [元に戻す:赤目補正] をクリックして、変更を元に戻すことができます。

変更をキープしたい場合は、[編集の完了] をクリックします。



既存ファイルを上書きしたい場合には、[保存] をクリックします。

新規ファイルとして保存したい場合には、[名前を付けて保存] をクリックし、新しい名前を入力してから [保存] をクリックします。



ACDSee 2009 チュートリアル: 赤目を補正する

編集モードで開く

このチュートリアルでは、下記のポイントについて解説しました:

» [赤目補正] ツールの使い方は非常に簡単で、ほとんどの場合 1 クリックで補正が完了します。

赤目を拡大表示する

» 実際の目の色を選択することで、補正がより自然に行われます。自然に見えない場合には、補正の度合いを調整します。

[赤目補正] ツールを使用する

» 瞳孔の周りのみに赤みが見られる場合には、目の中心をクリックするだけで補正が完了しますが、赤みが皮膚にも見られる場合には、小さい範囲を数回ドラッグして細かく補正する必要があります。

ピクセルのはみ出しを防ぐ

» 満足する結果が得られなかった場合は、[元に戻す] をクリックするか <Ctrl> + <Z> キーを押して編集を元に戻します。

変更を保存する

» 赤みを完全に補正せず、わずかに残したほうが自然に仕上がります。

まとめ